

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校読書活動推進				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成 2 1 年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕					
	事業対象	区立全中学校							
	事業目的	学校図書館の読書環境を整備し、利用に関する指導を行ったり資料展示を工夫したり、読書会を開催することで、生徒の読書意欲を高め、読書活動を推進する。							
	事業内容	授業や学習で活用できるように、書棚整理や分類表示を統一するなど、学校図書館の環境整備を行う。また本の紹介や資料展示等を行い、生徒の読書に対する興味、関心を深めさせることで読書意欲を高める。							
委託の有無	全部委託		委託内容	学校図書館運営業務委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	実施校 (校)			7	26	26	7	
		貸出冊数 (冊)			10,000	84,999	115,904	6,096	
	決算額 (単位：千円)					(23,986)	(23,640)	6,364	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				(450)	(417)	170	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				(23,986)	(23,641)	6,365	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				(24,436)	(24,058)	6,535	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源 (区負担額)				(23,986)	(24,058)	6,535			
前年度から改善した事項	校外学習や地域学習に関する資料や、職業体験関連の資料の専用コーナーを設けるなど、わかりやすい学校図書館環境づくりを進めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	生徒の読書離れに歯止めをかけるため、読書支援や学習支援をおこない、生徒に読書に対する興味・関心を深めさせることで、読書活動の活性化につなげる本事業は必要性は高い。						
	効率性	3	図書館業務の専門業者に委託し、司書資格を持つ人材を確保している。委託により効率的に事業を実施できている。						
	手段の適切性	3	委託業者において研修会を複数回実施しており、配置されている司書のレベルが維持できている。配置された司書により各学校において、生徒への読書支援や学習支援が適切に行われている。						
	目的達成度	2	各学校、前年度よりも貸出冊数は増えているものの、減少している学校もあった。生徒が読書活動に興味もてる環境整備や学習支援などは適切に行われており、目的は達成できていると言える。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	
司書資格を有する要員を週1回全中学校へ配置し、学校図書館の運営や環境整備、利用に関する指導、読書活動を啓発するための展示等を行った。 生徒の読書離れを防ぎ、読書意欲を高めるためにも、司書による読書支援や学習支援、レファレンス等が必要である。継続して事業を実施していく。							維持		